

築40余年の分譲マンションの住戸を対象に、季節ごとに異なる住まい方をサポートする3つのリビングのある住戸に再生した作品である。日射や屋外との距離感を自ら調整しながら積極的に居場所を変え、設備に依存しない持続可能な暮らし方が提案されている。

リフォーム前後の写真



リフォーム前の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／社会や地域の課題解決に資する取り組み等、審査基準に適合することを示す具体的内容

本計画は、分譲マンションの一室を対象に、周辺環境と既存建築の特性を活かしつつ、季節によって住まい方が変化する住戸への再生計画である。マンションの建物は二方向に風が抜け南側に竹林が残る豊かな環境にあり、室内は一部逆梁構造による特徴的な段差を有していた。一方で住戸は個室確保を優先した計画により空間利用が固定化され、外部環境との関係性が希薄となっていた。そこで本計画では、夏は東側、冬は西側、春・秋は南側の畳空間を中心とする3つの「リビング(集う場)」を設け、季節に応じて生活の重心が移ろう住まいとした。「夏のリビング」はインナーバルコニー奥の空間とすることで、直射日光と距離を保ち冷房負荷を軽減した。「冬のリビング」は西陽を取り入れて蓄熱できるよう床をモルタル仕上げとし、暖炉を設置することで冬の設えとした。「春と秋のリビング」は逆梁で床高が上がったインナーバルコニー横とし、床仕上げを畳とすることで太陽と近い位置で屋外と繋がる縁側のような場とした。各所に挿入されたベンチや暖炉、畳などの設えが季節ごとの居場所を形成し、住まい手を自然とそれぞれのリビングに導く。光や風との距離感を自ら選択し生活することで、地球温暖化の影響が強く見られる昨今に設備依存ではない持続可能な暮らし方への提案を行う。

右記に該当する場合は✓(審査基準参照) ☒ a. ストックの有効活用 ☒ b. 技能者不足への対応 ☐ c. 地域・コミュニティの活性化 ☒ d. 既存流通の活性化等

性能向上等、特に配慮した事項

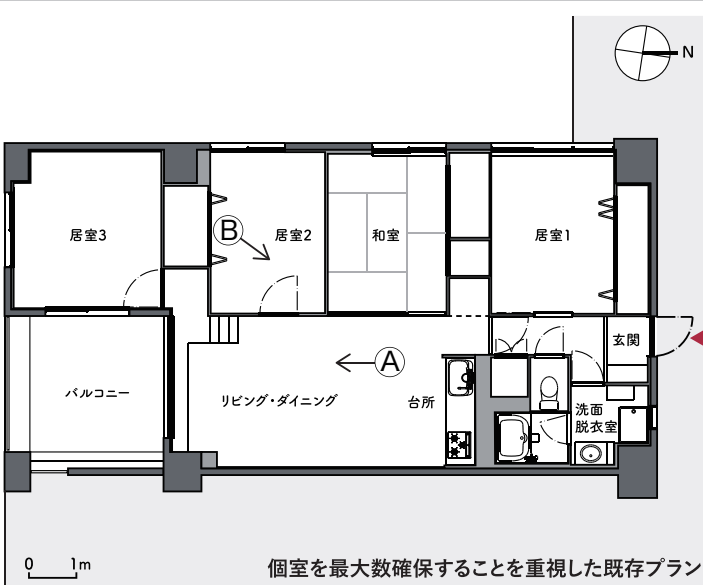
- ・外壁に新規断熱材敷込。全ての室ごとにあった段差を解消しバリアフリー化。設備更新による長寿命化。
- ・台所やワークスペース、居室他、将来ストックを見込む部屋の壁はDIY対応の強化壁を設定、設置空間を確保。
- ・周辺環境から読み解く光と風を効率的に取り込んだ住まいの実現。

所在地 大阪府豊中市 新築竣工年 1982 年 築後年数 44 年 施工期間 180 日間

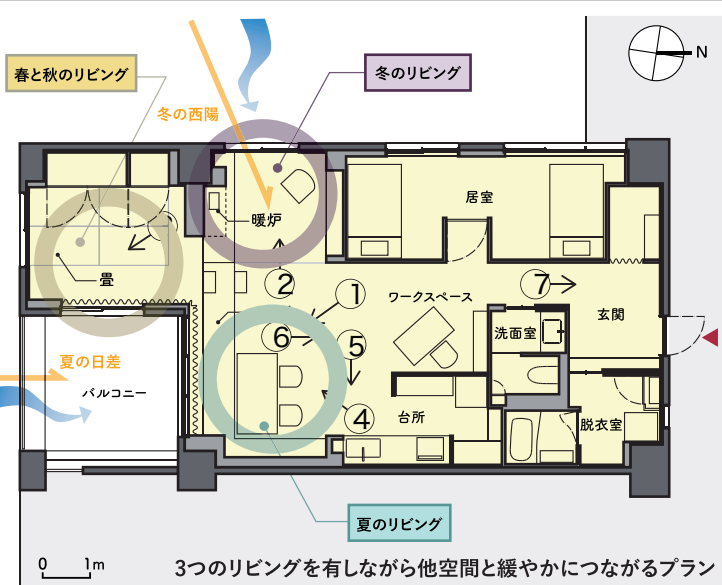
該当工事床面積 88.57 m² / 総工事床面積 88.57 m² 該当部分工事費区分 1,000~2,000万円 / 総工事費区分 1,000~2,000万円

居住者構成 65 歳以上: 人 / 40 ~ 64 歳: 人 / 15 ~ 39 歳: 2 人 / 14 歳以下: 人 / ペット: 人

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



リフォーム部位: ■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ □階段/ ■玄関/ □クローゼット/ □マンション共用部分/ □その他